

子どもたちが群れて遊ぶなくなって久しいですが、水戸こどもの劇場では、様々な年代と一緒に遊ぶことも大切と考え、長く続けている活動の1つです。

・みとこどものげきじょうまつり

みんな(大人も子どもも)で遊びを企画するところから始め、主催者になったり、参加者になったりして、みんなで遊び合います。

・忍者あそび

表現遊びのプロ集団(一般社団法人あそび心BASEアフタフ・バーバン信州)を講師として呼びます。創造力を使い、群れて遊ぶことを絶やすことなく、若い世代に繋ぎ続けていくために、午前は青年を中心に遊びについて学んだり、ワークショップを行います。午後は子どもたちと遊びの実践をします。講堂と庭を使い、身体と頭を使い忍者になりきり、大人は子どもたちと仲間忍者として遊びます。

【活動場所(市町村)】

・みとこどものげきじょうまつり
(那珂市・ふれあいセンターごだい)

・忍者あそび
(水戸市・茨城県立歴史館)

【寄付金の主な用途】

会場費
まつりでの遊びの材料費、バルーン
講師謝金、演奏謝金
忍者あそび講師謝金・交通費
チラシ印刷費

【企業との連携】

・まつりでは子どもの遊びブースでボランティアしていただくことができます。

・忍者あそびでは大人と子どもが小グループの仲間になり協力して活動するので、仲間忍者として一緒に身体を使って自然の中で遊ぶことができます。



団体名(所在地)

認定NPO法人水戸こどもの劇場(水戸市)

設立(活動開始)年

1971年6月

主な活動

文化事業・創造事業・子どもの諸活動支援事業・活動交流